

山形大学附属学校園だより 六 稜

2013. 3. 12
【発行】
 山形大学附属学校園
【印刷】
 坂部印刷株式会社



平成二十一年度に設置された附属学校運営部は全国の大学に先駆けた組織として大変注目を集めた取り組みでした。私自身、平成二十年度附属小学校校長の任期中にこの運営部設置を含めた改革に携わったこともあり、その動向にはいつも注目しておりました。その後平成二十一年から運営副部長として二年間お世話になり、そして平成二十四年四月から運営部長として再び附属学校の運営に携わることになりました。復帰して感じたことは、四つの附属校園を運営していく上で、この運営部体制がとても優れた組織であるということだと思います。その理由として次の二点挙げられます。

第一番目は、附属四校園の運営をトータルで考えることができること。予算配分なども附属学校全体の現状を見回して計画的に運用できるようになりました。つまり、それぞれの校園が見通しを持って学校運営ができたことだと思います。第二番目はそれぞれの学校間の連携活動が非常に活発になったことです。教職員同士の交流・連携は勿論のこと、園児・児童、生徒間の様々な交流活動が行われています。幼・小・小・中、幼・小・中・中特別支援それぞれの交流活動が定着してきたことは非常に喜ばしい限りです。

「山形大学方式」と呼ばれている運営部体制はスタートして四年が経ちましたが、これまでの問題点や課題を整理・改善して、更に充実した附属学校を目指していく所存です。そのためにも、附属学校教職員やPTAの皆様方のご協力、ご支援が不可欠です。今後ともお力添えのほどよろしくお願いたします。



附属学校運営部長
藤野 祐一

附属学校の更なる充実を目指して



附属中学校

5月の公開研究会は、「つながりを実感する授業の創造」をテーマとする最終年次の成果を発表することができました。部活動では、男子ソフトテニス部が県総体出場、剣道部女子が県総体3位で、東北総体に出場しました。更に個人では、陸上走り高跳びにおいて、3年石山太一君が東北総体1位、2年女子百メートルで佐藤由菜さんが東北総体2位入賞を果たしました。スキー競技では、2年鈴木千晴さんが東北総体、3年平吹浩一朗君が全国大会に出場しました。市PTAソフトボール大会ではお父様方と本校教員の絶妙な連携プレーで第2位となりました。山形大学附属中学校PTAの皆様がこの場をお借りして御礼申し上げます。

- 主な行事と日程
- 4月27日 PTA総会 歓送迎会
 - 5月24日～25日 公開研
 - 7月6日 運動会
 - 8月 2年の関西研修を始め、各学年研修。
 - 11月6日 合唱コンクール(テルサホール)
 - 12月5日 1学年がキャリア学習で麒麟ビール工場、河北新報を職場訪問。午後からは宮城県の震災被災地を訪問学習しました。



附属特別支援学校

附属特別支援学校では、小学部・中学部・高等部の児童生徒が学んでいます。今年も、小学部と附属小学校3、4年複組との交流及び共同学習を行い、年間を通して楽しく活動ができました。中学部は、附属中学校と音楽を通して交流及び共同学習を行いました。高等部では、山形大学での現場実習を行うとともに、今年からスタートした、本校卒業生が山形大学で働きながら就労に向けてのトレーニングを行う「就労トレーニング雇用」で、卒業後の生活に向けての取組を進めています。

「ふれあい祭」では、生活単元学習で学んだことの発表や作業学習で制作した製品の販売など、日頃の学習成果を児童生徒一人一人が楽しみながら発表できるような内容にしました。これからも児童生徒が自分から楽しく学ぶ姿を大切にしたいと考えています。

- 主な行事と日程
- 4月28日 PTA総会
 - 5月26日 運動会
 - 9月29日 PTA親子レクリエーション
 - 11月22日 公開研究会
 - 2月1日 ふれあい祭

編集委員
 奥山絢子・鈴木真奈美(幼)
 安達勝久・佐藤誠司(小)
 奥山智美・赤羽三枝(中)
 會田厚志・塩野知志(特)



附属幼稚園

附属幼稚園では、「心豊かでたくましい子ども」の育成をめざし、自分でやりたい遊びを中心に、行事や学年での活動などもバランスよく取り入れ、意図的な保育を展開しています。その中で子ども達は、自分の課題を見つけること、自立感(できる)、自律感(がまん)、創造性、有能感(やればできる)など生きていくことに必要な力を学んでいます。

はじめて社会生活をスタートした年少児も自分の居場所をみつけ、先生や友達と思いを出し合いながら遊ぶようになりました。これからも、子どもたちの笑顔あふれる園生活を創っていきたくと考えています。

- 主な行事と日程
- 4月25日 PTA総会
 - 5月12日 親子園外保育
 - 6月1日 公開研究会
 - 9月15日 運動会
 - 12月6・13・19日 ステージフェスティバル
 - 2月22日 年長さんありがとうの会



附属小学校

附属小学校では、「学び続ける子ども」の育成をめざして、日常的に「つながり」や「かかわり」を大切にした教育活動を行っています。みのり班活動での異学年交流を通して、上学年生は下学年生のことを思いやり、下学年生は上学年生のよいところを受け継いでいます。日常的なみのり班活動や清掃、スポーツフェスティバルなどを経て、ほんものの「つながり」や「かかわり」を求めています。

また、学年ごとに学習フェスティバルに向けて、一丸となり取り組んでいます。どの学年も学習のまとめにふさわしい発表を行っています。

みのり班活動での学びを生かして、「明日も来たい附属小学校」を創っていきたくと考えています。

- 主な行事と日程
- 4月26日 PTA総会
 - 6月8日 春の公開研究会
 - 7月4～6日 6年修学旅行
 - 9月8日 みのもりスポーツフェスティバル
 - 11月9日 秋の公開研究会
 - 2月27日 6年生を送る会

編集後記
 山形大学附属学校園だより「六稜」も第五号の発行となりました。「六稜」は山形大学附属学校園すべての校章になっています。「六稜」は「雪華」を意味し、北の国山形で、たくましく、強く、清らかに生きてゆく山形大学附属の園児・児童・生徒を象徴しています。今年も例年より多い積雪でしたが、子どもたちは北国の冬を乗り越え、「六稜」の意味を私たちに改めて教えてくれました。

附属学校園間の連携も、附属学校運営部の指導のもと、深化と発展を見せています。大学の附属として、大学とのつながりもより強くなり、附属学校園がそれぞれの学校園の特色を生かしながら、幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校の連携も充実してきました。これからもそれぞれの学校園の特色を生かしながら、磨き合い、理解し合いながらつながりを深めていきたいものです。

PTA活動の紹介

附属幼稚園PTA会長

佐藤 元

附属幼稚園のPTAは、四つの専門部活動と有志による活動を行っています。どの活動も子ども達の笑顔のためにがんばっております。

今年度は、園児数が少人数に移行して二年目となり、保護者数が減少したにもかかわらず、PTA活動に積極的に参加してくれる方が増加しています。

母親中心の「保育サポーター」では、得意分野を生かして子どもと一緒に清掃や調理活動補助、絵本読み聞かせ等を行っています。

また、父親による「おやし会」では年三回の園舎内外整備とも煮会をしています。

設立四年目を迎え、毎回参加人数が増え、活動を通しておやじ同士の絆も強くなり、幼稚園になくはならないものとなっているようです。

全体では「ふよう夏祭り」を行っています。今年度は来場者数が四八八人と過去最高を記録しました。松波地区会長さんを始め多くの地区の方々も参加して下さっており、大変嬉しいことです。

子ども達のためのPTA活動ではありませんが、保護者同士が楽しく参加できる活動にしていきたいと思っております。



中学校教員による外国語活動の授業(小・中)



「ゲンソウバナ」附属小学校6年 川口武流



附特小学部と附小との交流「おみせやさん」(特・小)

附属小学校のPTA活動の紹介

附属小学校PTA会長

中村 篤

長い歴史の中で、築き上げられた伝統を礎に、今年度本校PTAは、

①全員参加型のPTA活動(一人一役)

②自発的で必要感のある活動(創意工夫)

③保護者間のつながり(コミュニケーション)

の三つの基本方針を柱にすすめてまいりました。本校のPTA活動には、大きく分けて「個人の活動」と「組織の活動」があります。

個人の活動としては、保護者が各自選択して学校の環境整備、公開研究会や、みのりスポーツフェスティバルのお手伝いなどに取り組んでいます。

また、組織の活動としては各専門部が中心になって行う活動で、歓送迎会、研修会、レクリエーション大会の開催や、立哨安全指導、広報誌の発行などがあります。

このような様々な活動を通じ、私たち附属小学校PTAは、つねに子どもたちの健やかな成長を願い、先生方とスクラムを組んで前を向いて歩んでいきたいと願っています。



早朝作業(小PTA)



合唱交流会(小・中)



合同音楽の授業(特・中)



生活科「秋のゲームセンター」
幼小交流(幼・小)



家庭科学習
保育実習(幼・中)

附属中学校のPTA活動について

附属中学校PTA会長

佐藤善三郎

中学校のPTA活動の基本は一人一役で、無理をせず出来る範囲内で、子どもたちの学校生活を少しでも快適に過ごせるようにすることです。組織としては、五つの専門部会と監査委員、評議委員会から成り立っております。

年に二回発行されるPTA広報誌「附中だより」を担当する広報部、先生方の歓送迎会や学年・学級のPTA活動を円滑にする総務部、植木剪定や雪囲いなど校内整備を担当する施設厚生部、運動会の協力やPTA学年対抗球技大会の開催、学区や山形市PTA連合会のソフトボール大会の協力などをする体育部、県や市の組織と連携して活動している母親委員会、会計監査の監査委員、附中PTA活動の方向性を決定する評議委員会、の五部会と一委員会、

学校や大学と連絡を密にして連携を図り活動することが大切です。また、四附のつながりもより一層深めていかなければなりません。どうぞよろしくお願いたします。



広報部活動(中PTA)

PTA活動を振り返って

附属特別支援学校PTA会長

高山 さおり

今年度、特別支援学校では、四月から今日までいろいろな活動がありました。その中でもおもしろい活動として、六月三十日、本学園、運営部長であります藤野先生ご夫妻による「オペラティックコンサート」を開催いたしました。準備期間が短く初めての企画でしたが、本格的なオペラという西洋文化、芸術に触れることができ、子どもたちはその演奏に新鮮な空気を感じ、心豊かなひとときを過ごすことができました。また、その際に被災地、福島大学教育学部附属特別支援学校への募金活動も行いました。先生方、保護者の皆様のご協力のおかげで、華やかに盛大に開催することができましたことに心より感謝申し上げます。

また秋には昨年に引き続き、親子レクリエーション、モンテッソーリ、サッカー普及コーチによるサッカー教室を開催いたしました。お天気に恵まれ、子どもたちは楽しそうにイキイキと、本校、武田校長先生がいつもおっしゃる「笑顔いっぱい、元気いっぱい」の姿をたくさんみせてくれました。その他にも、「母の集い」「視察研修」「趣味の教室」など、保護者の皆さんが活動の輪を広げて楽しく行事を開催しました。ご協力本当にありがとうございます。これからも助け合って自分らしく笑顔で歩いていきたいと思っております。最後に、元気でいてくれる子どもたちに感謝をこめて……



PTA趣味の教室
ブリザーードフラワー作り(特PTA)



PTA
オペラティックコンサート